

今週
の
み
こ
と
ば

「荒野の誘惑」

(出エジプト記17章1節～7節)

「…それは、イスラエル人が争ったからであり、また彼らが、『主は私たちの中におられるのか、おられないのか』と言って、主を試みたからである。」(7:7)

(マタイの福音書4章1節～11節)

「イエスは言われた。『引き下され、サタン。「あなたの神である主を拝み、主にだけ仕えよ」と書いてある。』」(4:10)

今日のメッセージ要旨

◎私たちがこの地上で生活するとき様々な誘惑を受けます。その時どうすれば良いかみ言葉を通して導かれましょう。

◎**イスラエルの罪** 出エジプト記17章前半の主題は「イスラエル、主を試みる」で、水が完全になくなったのが原因で主を試みたのです。民の不信仰は、神様のご臨在に対する疑いで、出エジプトから荒野の旅の全体を通じて、すべての神様のご臨在による働きを無視しているのです。それにもかかわらず、神様は大きな恵みを与えられ、臨在のしるしを示し、導かれるのです。「マサ」「メリバ」(7)は、後々まで不信仰を警告する地名となった。「まことに主は私たちの神。私たちはその牧場の民その御手の羊。今日もし御声を聞くなら、あなたがたの心を頑なにしてはならない。メリバでのように荒野のマサでの日のように。」(詩篇95:7,8)

◎**イエス・キリストの誘惑** マタイの福音書4章1～11節の主題は「悪魔の誘惑」で、マルコ1章12～13節、ルカ4章1～13節、も同じ記事です。

◎イエス・キリスト様はバプテスマのヨハネから洗礼を受けられた時、聖霊に満たされ、「あなたは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ」と神様のみ声を聞かれたのです。その後、「御霊に導かれ」て荒野におり、悪魔の試みを受けられたのです。私たちの歩みも自分の考えで行動するのではなく、神様の導きに従うことを第一にしたいものです。

◎イエス・キリスト様は三つの誘惑を受けられました。第一は「パン」、第二は「魅惑的なもの」、第三は「権力と繁栄」の誘いでした。それらの誘惑にイエス・キリストは聖書のみ言葉(何れも申命記)によって勝利を得られたのです。それだけイエス・キリスト様は聖書に精通しておられたのです。悪魔は初めに「あなたが神の子なら」と持ち上げたが(3,6)、結局「私を拝むなら」(9)と本性を現わした。彼は神のことばさえ、自分の都合の良いように使った。主イエス様は彼の魂胆を見抜かれ、「下され、サタン」と告げられた(10)。悪魔の誘惑に勝たれたイエス様は神様に用いられて行くのです(24～25)。

◎**アダムとエバの誘惑** アダムとエバは蛇の誘惑を受けた時「目が開け、神のようになり、善悪を知るようになる」と誘われ、「食べるのに良く、目に麗しく、賢くする」のに好ましく覚え、神様のみ言葉に背き、罪を犯したのです。またイスラエルの民は荒野での旅路において「パンがない」、「水がない」と呟き、「偶像を拝んだ」のです。しかし、真の救い主であられるイエス・キリスト様は、それらの誘惑に勝利を得られたのです。

◎**サタンの誘惑** 「肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢」等によるのです(ヨハネ②2:16)。しかし「神の子が現れたのは悪魔のしわざを打ちこわすため」です(同3:8)。「神の御霊に導かれる人は、だれでも神の子どもです」(ローマ8:14)。